

学校の解決すべき課題（概要）

①児童生徒数・学級数の変化

- 児童生徒数は昭和57年のピーク時からおよそ半分に、学級数はおよそ3分の2になっており、今後も大幅に減少する見通しである。

②施設保有量（床面積）

- ピーク時より児童生徒数はおよそ半分に減少しているが、学校の施設保有量は、ピーク時に整備した面積からほぼ変化がなく、既存施設の老朽化が進行している。

③今後かかる維持・更新コスト

- 今後、既存学校施設を維持していくための修繕・改修に係るコストは、建て替えを行わない場合であっても、過去5年間の小・中学校普通建設事業費の平均額を大幅に上回る見込みである。

